ふるさと幸福論
北奥羽の未来像

豊かさに新しい価値

日本総合研究所 松岡所長に聞く

地方変えることが早道

都道府県の「幸福度ランキング」を発表している一般財団法人・日本総合研究所。どのような視点で地域の幸福を分析しているのか、松岡斉所長に、理由と狙いを聞いた。（聞き手・田村祐子）

【1ページに本記】

―ランキングを発表している理由は。

この国全体の現状として、将来に対する閉塞感がある。戦後の右肩上がりの時代が終わり、低成長の状況が続く中、「人間の豊かさとは物やお金なのか。もっと違う部分に、尊い豊かさを感じさせる要素があるのでは」との疑問がきっかけだ。

今の若い世代にとっての価値は、必ずしも経済的豊かさや発展ではなく、生活の中身が時代に合った形に変容している。それは必ずしも悪い方向ではなく、大量生産、大量消費から、エネルギーや環境と美しく調和する方向に進んでいる。

日本には、〝21世紀型〟の生活スタイルを表現する国土や国民性があり、幸福の在り方を追究し、世界に向けて新しい価値を発信できる。価値あるものが評価されるよう、継続した分析とデータ提供をすることが、シンクタンクの役割だ。

―「幸福」の基準をどう捉えているのか。

何が幸福かは、一人一人違うと思うが、基本的には「自立自尊」「ネットワーク」「ビジョン」の三つのキーワードに集約される。

自立自尊は、人に指図されず、個人がそれぞれの立場で判断できること。幸福を考える上で、基本中の基本となる事項だ。

ネットワークとは、友人や知人、故郷とのつながりを指す。相談できる誰かと、顔の見える関係でつながっていることが大切だ。

そして、共感や行動を促すビジョンが重要だ。「役に立ち、頼りにされたい」という気持ちを実現できる仕組みや、正当に評価される環境が欠かせない。

能動的に動く住民をどんどん輩出することが「幸福度」向上のポイントで、ランキングは地域の幸福を生み出すための客観的な条件を踏み固めるものだ。

―青森や岩手の特徴は。

教育分野の順位が高く、〝入り口〟はしっかりしているのに、仕事分野などが低く、〝出口〟までつながっていないと言える。

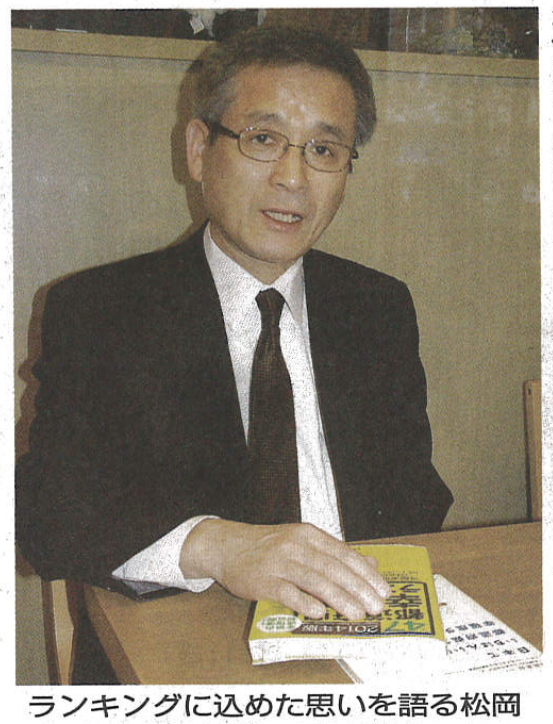
仙台や東京に行かないと働く場がない―と思い過ぎているのではないか。例えば、全国1位の福井県は、インターンシップ実施率が1位で、中学生から地元の産業を知る仕組みがある。進学で県外に出ても、最終的に県内で就職先を見つけてもらう工夫が必要だ。

―データをどう活用したらよいか。

ランキングに使った60指標は、自治体や議会の使いやすさを考えて主観的な要素を除き、公的な統計データから選定した。強みや弱みを見比べれば、やるべきことは歴然としている。活用し、地方創生につなげてほしい。

行政や議会は、住民を信頼し、ワクワクしながら社会に参加してもらう方法を考えるべきだ。平日は仕事、週末はボランティア、という具合に、1人が2役以上を果たす暮らし方に変われば、人口が減っても住民サービスや利便性は低下しないし、幸福度も高まる。

かつての日本では当たり前だったことで、地方には今も、そういう生活が根付いている。国を変えようとすれば、地方を変えることが早道だ。



ランキングに込めた思いを語る松岡斉所長＝4月下旬、東京都内

14年版都道府県別幸福度 青森45位、岩手39位

日本総合研究所は、2012年12月に「日本でいちばんいい県　都道府県別幸福度ランキング」（東洋経済新報社）、14年2月に「全47都道府県幸福度ランキング2014年版」（同）を発行。地域の幸福の基盤と位置付ける指標を、継続的に分析している。

「基本指標」は、人口増加率や1人当たり県民所得など五つを抽出。健康、文化、仕事、生活、教育の分野別指標と併せ、地域力や行政力を比較している。

14年版では、前回から5指標を追加。分野別指標は、経済、社会の安定度を測る「現行指標」と、将来の幸福につながる潜在能力を示す「先行指標」に分類した。

総合順位1位は福井県。仕事、教育分野に加え、追加指標の女性の労働力人口比率と、子どもの運動能力比率も1位だった。

青森県は総合45位。待機児童率の低さ1位、ホームヘルパー数3位などの一方、平均寿命や海外渡航者率が全国最下位だった。

総合39位の岩手県は、不登校児童生徒率の低さ1位、社会教育費2位など、トップクラスの指標がある一方、インターネット人口普及率46位、大学進学率44位などと、先行指標が低かった。

幸福度ランキング60指標一覧（日本総合研究所）

分野	基本指標					追加指標
	人口増加率	1人当たり県民所得	選挙投票率（国政選挙）	食料自給率（カロリーベース）	財政健全度	
	現行指標		先行指標			
健康	生活習慣病受療者数	気分障害受療者数	産科・産婦人科医師数	ホームヘルパー数	高齢者ボランティア活動者比率	信用金庫貸出平均利回り
健康	健康寿命	平均歩数	健康診査受診率	体育・スポーツ施設数	スポーツ活動時間	
文化	教養・娯楽出資額	余暇時間	常設映画館数	書籍購入額	NPO認証数（学術、文化、スポーツ振興）	平均寿命
文化	外国人宿泊数	姉妹都市提携数	語学教室にかける金額	海外渡航者率	留学生数	
仕事	若者完全失業率	正規雇用者比率	高齢者有業率	インターンシップ実施率	大卒者進路未定者率	女性の労働力人口比率
仕事	障がい者雇用率	製造業労働生産性	事業所新設率	特許等出願件数	本社機能流出入率	
生活	持ち家比率	生活保護受給率	待機児童率	一人暮らし高齢者率	インターネット人口普及率	自殺死亡率
生活	汚水処理人口普及率	道路整備率	一般廃棄物リサイクル率	エネルギー消費量	地縁団体数	
教育	学力	不登校児童生徒率	司書教諭発令率	大学進学率	教員1人当たり児童生徒数	子どもの運動能力
教育	社会教育費	社会教育学級・講座数	学童保育設置率	余裕教室活用率	悩みやストレスのある者の率	

青森県内 行楽地にぎわう

ゴールデンウイーク後半の3日、好天に恵まれた青森県南地方の行楽地は活気

こども
和田市馬事公苑

市立木崎野小2年の中村光希君(7)は、馬にニンジンをあげたり、芝生でキャッ

高の人出。公苑側は「天気が良く、一気に来場者が伸びた。4、5日も期待したい」と話していた。

おいらせ町のカワヨグリーン牧場では「春の牧場ま

ボトルロケットなどの体験もあり、会場には終始、行楽客の歓声が響いていた。

妻、長男と共に訪れた十和田市元町西5丁目、会社員奥陽一さん(35)は「絶好

休日を過ごせた。子どもも動物との触れ合いを楽んでいた」と満足げだった。

（西舘康司、上條哲洋）

▼相武紗季さんが結婚　女

結婚したことを明らかにした。所属事務所によると、相手は会社経営の男性(36)で、芸能関係者ではないという。相武さんはファクスで「友人を介して出会い、昨年末にプロポーズをいただいた」とコ